

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	哲学	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	集中講義
キャンパス※	稲毛キャンパス	教室※	—
学修分野			
授業目的 ※	本講義は、学生が知識や理解の本質や、個人や社会の中でのあるべき獲得方法についての基本的概念と考え方を理解し、私たちの認識に関する多様なトピックについて自分で考えることができるようになることを目的とする(DP 2, 3; CP2)。		
到達目標			
授業内容 授業形態 ※	本授業は、オンデマンド型講義です。毎週1回、指定曜日に講義資料(youtube動画とPDFファイル)および毎週の課題をkcn上にアップいたします。課題の期限は通常、翌週の授業日まで、提出先はkcnです。(授業の曜日およびkcnの課題提出先などはすべて1回目の講義資料で説明いたします。) オンデマンド		
評価方法 ※	(1)毎授業時の提出物としての小レポート提出 (2)1200～1600字程度の最終レポート (3)授業中の討論などへの参加度		
評価基準	成績評価の配分は、小レポートが40%、最終レポートが30%、参加度30%となる。最終試験はない。		
テキスト	佐藤邦政(2019).『善い学びとはなにか:〈問いほぐし〉と〈知の正義〉の教育哲学』、東京:新曜社。		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	心理学(教職科目)	単位数 ※	2
開講学期※	前期	曜日・時限 ※	集中講義
キャンパス※	稲毛キャンパス	教室※	—
学修分野			
授業目的 ※	心理学とは人間の行動を科学的に説明し、理解することを目的とした学問である。本講義では、日常生活の中で経験する事象について、その発生機序などを心理学的な視点から説明する。本講義を通して我々の行動を客観的に理解する視点を養うことを目指す。(DP1・CP1)		
到達目標	1) 日常生活の中で経験する事象を客観的に理解するための心理学的な知見を知る。 2) 人間の社会的行動の発生機序を科学的エビデンスに基づいて理解する。		
授業内容 授業形態 ※	①本講座は、オンデマンドで実施します。 ② 講義映像(スライド+解説音声)を視聴し、確認テストを受験してください。 ③ 授業に必要な講義映像と資料の配布、課題提出はmoodleで行いますので、履修者は指定の期日までに必ずmoodle「心理学(国際・教育)」に登録してください。moodleへの登録に必要な登録キーなどの情報はKCNのクラスフォーラムに掲載します。 ④ 確認テストの成績はmoodleの採点機能を使用して順次フィードバックします。 ⑤ 授業に関する質問はKCNのクラスプロフィールにある「Q&A」を使用してください。		
評価方法 ※ 評価基準	①第1回～第14回の授業後に受験する確認テストの成績(70%)とショートレポート(30%)で評価します。 ②授業後の確認テストはmoodleを使用して行います。指定された期限までに課題の提出やテストの受験を完了してください。 ③指定された受験期間に受験を完了できなかった小テストは0点として扱います。 ⑤最終授業後に提出するショートレポートの具体的な課題内容は13回目の授業で指示します。		
テキスト	指定しない		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	社会心理学	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	集中講義
キャンパス※	稲毛キャンパス	教室※	—
学修分野			
授業目的 ※ 到達目標	人と人の関係に関する社会心理学を学ぶことで、良識ある社会人としての一般的教養を身につける(全額統一DP)ことができる。そのために、対人行動に関連する心理学の研究成果を概観し、人間の行動に対して他者や環境がどのように影響を及ぼしているか心理学的に理解することを目標とする。		
授業内容 授業形態 ※	オンデマンドのリモート集中講義形式で進める。具体的な研究例を取り上げ、わかりやすく概説する。毎週、KCNで配布される資料を理解して、その後、KCNで小テストを受験してもらう。小テストは次の週に各自にフィードバックし、質問等はKCNの「Q&A」で解説する。 オンデマンド		
評価方法 ※	毎回の小テスト実施率と小テストの合計点で評価する(100%)。		
評価基準			
テキスト	使用しない。適宜、印刷資料を配付する		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項